

令和3（2021）年度 大阪大学大学院言語文化研究科

言語社会専攻／日本語・日本文化専攻博士前期課程学生募集要項

I アドミッション・ポリシー

1 言語社会専攻アドミッション・ポリシー

大阪大学及び言語文化研究科のアドミッション・ポリシーのもとに、学位プログラム「言語社会」は、教育目標に定める人材育成の方針に沿って、多様な学生を募るための適切な選抜方式（原則として筆記試験及び口述試験による）を採用しています。学位プログラム「言語社会」は、教育目標に定める人材育成の方針に沿って、各コースで次のような人材を求めています。

地域文化研究コース（アジア・アフリカ言語文化コースおよびヨーロッパ・アメリカ言語文化コース）では、特定地域の言語（中国語、朝鮮語、モンゴル語、インドネシア語、フィリピン語、タイ語、ベトナム語、ビルマ語、ヒンディー語、ウルドゥー語、アラビア語、ペルシア語、トルコ語、スワヒリ語、ロシア語、ハンガリー語、ドイツ語、デンマーク語、スウェーデン語、英語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語）の専門的知識を身につけ、その言語あるいは言語圏の文化と社会に関する先端的研究、具体的には個別言語を対象にした言語学（語史や音韻、形態、統語、語用等の分析など）、各言語圏の文学（小説・演劇・詩等の文化表象の分析など）、各言語圏の歴史、社会、政治経済（社会の動態と構造の分析など）を扱う学問の先端的研究を実践する研究者をめざす学生を求めています。また同時に、世界の諸地域の言語や文化に関する高度の教養を身につけ、国際舞台上で活躍するグローバル人材となることをめざす学生を求めています。

高度専門職業人コース（英語教員リカレント・コースおよび中国語教員リカレント・コース）では、中等教育の現場における英語および中国語の教育に役立てるため、それぞれの言語の高度な専門的知識とその言語圏の文化と社会に関する高度な教養を身につけようと望む現役教員を学生として求めています。

博士前期課程に入学するためには、上記の特定地域の言語とその言語圏の文化と社会について、本学外国語学部の卒業生と同等の学力を有していることが必要です。そして、上記のような学生を募るため、夏季と冬季の年2回に分けて、次のような選抜試験を行います。

- ◎ 研究活動に資する言語運用能力の高さを確かめるための「言語」の試験（社会人・外国人留学生を除く）
- ◎ 研究活動の基盤となる専門知識を確かめるための「専門科目」の試験（高度専門職業人コースを除く）
- ◎ 専門分野の知識や研究計画等を確かめるための口述試験

2 日本語・日本文化専攻アドミッション・ポリシー

大阪大学及び言語文化研究科のアドミッション・ポリシーのもとに、学位プログラム「日本語・日本文化」は、教育目標に定める人材育成の方針に沿って、多様な学生を募るための適切な選抜方式（原則として筆記試験及び口述試験による）を採用しています。

学位プログラム「日本語・日本文化」では、日本語・日本文化分野の教育研究に強い関心を持つとともに、日本語・日本文化を世界の諸言語・文化の中で相対的に捉え、理解しようとする比較対照的視座をもった思考力に優れた学生を広く世界に求めます。将来、国内外の高等教育機関で当該分野における教育者や研究者を目指す方、海外協力機関や国際機関で日本語・日本文化の発信のために必要な企画・立案・交渉・運営等を行う専門職業人を目指す方、また日系企業等を活動の場として、日本と世界の国々との懸け橋となることを目指す方々の入学を期待しています。

博士前期課程の入学試験は、一般、社会人、外国人留学生の三つのカテゴリーでおこなっており、国内外から多様な人材を集めるために入学時期と試験方法の異なる二つのコース（日本語・日本文化実践コース及び日本語・日本文化専修コース）を設置しています。選抜試験の詳細は以下の表のとおりです。

日本語・日本文化実践コース（一般、社会人、外国人留学生） 4月入学	
一般	提出書類（研究計画、小論文を含む）、筆記試験（専門科目及び言語） 口述試験
社会人	提出書類（研究計画、小論文を含む）、筆記試験（専門科目）、口述試験
外国人留学生	提出書類（研究計画、小論文を含む）、筆記試験（専門科目）、口述試験

日本語・日本文化専修コース（外国人留学生のみ） 4月および10月入学	
提出書類（研究計画、小論文を含む）、Eメール等によるインタビューまたは口述試験	

なお、専修コースでは、海外から直接受験する方には口述試験の代わりにEメール等によるインタビューを実施します。

いずれのコースも、夏と冬の2回、入学試験を行い、ディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成できるための以下に挙げる項目について、入学前に習得しているべき能力を判定します。

- ・「日本語学・言語学」、「日本語教育学」、「日本文化学」の三つの系域のいずれかについて専門的な基礎知識を有する。
- ・「日本語学・言語学」、「日本語教育学」、「日本文化学」の三つの系域のいずれかの分野で研究を行うための方法論的知識を有する。
- ・特定の研究テーマについてデータや文献などの資料を収集・分析することができる。

※ 詳しくは、ホームページ上のアドミッション・ポリシーをご覧ください。

URL http://www1.lang.osaka-u.ac.jp/ls/admission/a_policy.html

http://www1.lang.osaka-u.ac.jp/jc/admission/a_policy.html

II 募集人員

言語社会専攻	夏季試験における募集人員	18名程度	合計25名
	冬季試験における募集人員	7名程度	
日本語・日本文化専攻	夏季試験における募集人員	7名程度	合計10名
	冬季試験における募集人員	3名程度	

*【社会人】及び【外国人留学生】については、この募集要項に基づいて学力検査の一部（言語の試験）を免除した上で入学試験を実施します（特別選抜は行いません。）ので注意してください。

Ⅲ 専攻及びコース

専攻	コース	
	専攻言語	
言語社会専攻	アジア・アフリカ言語文化コース	中国語、朝鮮語、モンゴル語、インドネシア語、フィリピン語、タイ語、ベトナム語、ビルマ語、ヒンディー語、ウルドゥー語、アラビア語、ペルシア語、トルコ語、スワヒリ語
	ヨーロッパ・アメリカ言語文化コース	ロシア語、ハンガリー語、ドイツ語、デンマーク語、スウェーデン語、英語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語
	中国語教員リカレント・コース（夏季試験のみ募集）*1	
	英語教員リカレント・コース*1	
日本語・日本文化専攻	日本語・日本文化実践コース	
	日本語・日本文化専修コース*2	

*1 【中国語教員リカレント・コース】及び【英語教員リカレント・コース】については、この募集要項に基づいて学力検査の一部を免除した上で入学試験を実施します（特別選抜は行いません。）ので注意してください。

*2 【日本語・日本文化専修コース】については、入学者選抜方法が異なりますので、別途お問い合わせください。

Ⅳ 出願資格（【一般】、【社会人】、【外国人留学生】、【中国語教員リカレント・コース】及び【英語教員リカレント・コース】別に、各該当項目事項を参照してください。）

1 【一般】 次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 日本の大学又は専門職大学を卒業した者及び令和3（2021）年3月31日までに卒業見込みの者
- (2) 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び令和3（2021）年3月31日までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び令和3（2021）年3月31日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和3（2021）年3月31日までに修了見込みの者
- (5) 日本において、外国の大学（専門職大学に相当する外国の大学を含む。以下同じ。）の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和3（2021）年3月31日までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和3（2021）年3月31日までに授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和3（2021）年3月31日までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年2月7日文部省告示第5号参照）

- (9) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本研究科において、教育を受けるにふさわしい学力があると認められた者
- (10) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学又は専門職大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和3（2021）年3月31日までに22歳に達する者
- ※ (9)又は(10)に掲げる出願資格により出願しようとする者は、あらかじめ出願資格の認定を受ける必要がありますので、「V 出願資格事前審査」を参照してください。

2 【社会人】(1)の①又は②に該当し、かつ、(2)の①から⑨までのいずれかに該当する者

(1) 職歴等

- ① 有職者（就職内定者を含む。）である者
- ② 令和3（2021）年3月31日において25歳以上の者

(2) 学歴等

- ① 日本の大学又は専門職大学を卒業した者
- ② 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者
- ③ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- ⑤ 日本において、外国の大学（専門職大学に相当する外国の大学を含む。以下同じ。）の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- ⑥ 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- ⑦ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- ⑧ 文部科学大臣の指定した者（昭和28年2月7日文部省告示第5号参照）
- ⑨ 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学又は専門職大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和3（2021）年3月31日までに22歳に達する者

- ※ ⑨に掲げる出願資格により出願しようとする者は、あらかじめ出願資格の認定を受ける必要がありますので、「V 出願資格事前審査」を参照してください。

3 【外国人留学生】在留資格「留学」を有し（入学時に在留資格を「留学」に変更する者を含む。）、次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 日本の大学又は専門職大学を卒業した者及び令和3（2021）年3月31日までに卒業見込みの者
- (2) 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び令和3（2021）年3月31日までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び令和3（2021）年3月31日までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和3（2021）年3月31日までに修

了見込みの者

- (5) 日本において、外国の大学（専門職大学に相当する外国の大学を含む。以下同じ。）の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和3（2021）年3月31日までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和3（2021）年3月31日までに授与される見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和3（2021）年3月31日までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年2月7日文部省告示第5号参照）
- (9) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本研究科において、教育を受けるにふさわしい学力があると認められた者
- (10) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学又は専門職大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和3（2021）年3月31日までに22歳に達する者
※ (9)又は(10)に掲げる出願資格により出願しようとする者は、あらかじめ出願資格の認定を受ける必要がありますので、「V 出願資格事前審査」を参照してください。

4 【中国語教員リカレント・コース】(1)の①から④までのいずれかに該当し、かつ、(2)の①から③までのいずれにも該当する者

(1) 学歴等

- ① 日本の大学又は専門職大学を卒業した者
- ② 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者
- ③ 文部科学大臣の指定した者（昭和28年2月7日文部省告示第5号参照）
- ④ 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学又は専門職大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和3（2021）年3月31日までに22歳に達する者
※ ④に掲げる出願資格により出願しようとする者は、あらかじめ出願資格の認定を受ける必要がありますので、「V 出願資格事前審査」を参照してください。

(2) 教育職員免許状及び職歴等

- ① 本研究科への出願時に、中国語に関する、中学校教諭一種免許状若しくは高等学校教諭一種免許状又は臨時免許状を有している者で、かつ、学校教育法第1条に規定する学校又は中等教育段階に相当する各種学校（以下「学校等」という。）の教員（臨時教員を含む。）の職にある者
- ② 学校等において3年以上の中国語教育経験（臨時教員を含む。）を有する者及び令和3（2021）年3月31日までにその見込みのある者
- ③ 原則として、本研究科在学中に教育実践ができる場を持っている者

5 【英語教員リカレント・コース】(1)の①から④までのいずれかに該当し、かつ、(2)の①から③までのいずれにも該当する者

(1) 学歴等

- ① 日本の大学又は専門職大学を卒業した者
 - ② 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者
 - ③ 文部科学大臣の指定した者（昭和28年2月7日文部省告示第5号参照）
 - ④ 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学又は専門職大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和3（2021）年3月31日までに22歳に達する者
- ※ ④に掲げる出願資格により出願しようとする者は、あらかじめ出願資格の認定を受ける必要がありますので、「V 出願資格事前審査」を参照してください。

(2) 教育職員免許状及び職歴等

- ① 本研究科への出願時に、中学校教諭一種免許状（英語）又は高等学校教諭一種免許状（英語）を有している者で、かつ、学校教育法第1条に規定する中学校又は高等学校（以下「中学校等」という。）の英語の教員（臨時教員を含む。）の職にある者
- ② 中学校等において3年以上の英語教育経験（臨時教員を含む。）を有する者及び令和3（2021）年3月31日までにその見込みのある者
- ③ 原則として、本研究科在学中に教育実践ができる場を持っている者

（注）言語社会専攻【英語教員リカレント・コース】では、英語の高い運用能力を前提とした英語学、英米文学、英米文化、英米社会などについて本格的な学問研究を展開しています。（なお、英語教育学、英語教授法については、言語文化研究科言語社会専攻ではなく、言語文化専攻に専門講座があります。ただし、言語文化専攻にはリカレント・コースはありません。）

【英語教員リカレント・コース】の概要等については、ホームページをご覧ください。

URL <http://www1.lang.osaka-u.ac.jp/ls/recurrent/summary.html>

V 出願資格事前審査

「IV 出願資格」の1【一般】の(9)又は(10)、2【社会人】の(2)の⑨、3【外国人留学生】の(9)又は(10)、4【中国語教員リカレント・コース】の(1)の④、又は5【英語教員リカレント・コース】の(1)の④に掲げる出願資格により出願しようとする者については、出願前に個別の出願資格事前審査を行いますので、下記のとおり事前審査に必要な書類を提出してください。

[事前審査提出書類]

- (1) 入学試験出願資格認定申請書（所定用紙）
 - (2) 研究業績調書（所定用紙）
 - (3) 論文（(2)の研究業績調書のうちから主要論文1点を3部提出。なお、日本語又は英語以外の論文の場合は、日本語訳文（出願者作成可）を3部添付してください。）
 - (4) 最終学校の卒業証明書*又は修了証明書*
 - (5) 最終学校の成績証明書*
- * 写しでも可。（ただし、出願資格認定後の出願に際しては、原本を提出してください。）
日本語又は英語以外の証明書の場合は、日本語訳文（出願者作成可）を添付してください。

出願資格事前審査書類提出期限 夏季試験：令和2（2020）年5月29日（金）

冬季試験：令和2（2020）年10月16日（金）

※封筒の表に「出願資格事前審査」と朱書きしてください。

出願資格事前審査は提出された書類により行います。審査の結果は、本人あてに郵送で通知します。（電話による問い合わせには応じません。）

出願資格事前審査の結果、出願を認められた者は、次の「VI 出願手続等」により出願することができます。

VI 出願手続等

1 出願書類等

(1) 言語社会専攻

出願書類等	必要書類					摘 要
	一 般	社 会 人	外 国 人 留 学 生	中 国 教 員 リ カ レ ント ・ コ ー ス	英 語 教 員 リ カ レ ント ・ コ ー ス	
入学願書 (所定の用紙)	●	●	●	●	●	<ul style="list-style-type: none"> 写真は、上半身正面向無帽で、出願前3か月以内に撮影したものを貼付してください。 (写真の大きさ縦4cm×横3.5cm 1枚)
成績証明書 及び 卒業(見込)証明書	●	●	●	●	●	<ul style="list-style-type: none"> 出身大学の学長又は学部長が作成し、厳封したもの(写し不可) 偽造防止用紙による証明書の場合は、特に厳封を要しません。 日本語又は英語以外の証明書の場合は、日本語訳文(出願者作成可)を添付してください。 <u>海外の大学等の卒業(見込)者で、卒業(見込)証明書内に学位名が記載されていない場合は、併せて学位授与(見込)証明書の提出が必要です。</u> 婚姻等により証明書に記載された氏名と現在の氏名が相違している場合は、改名したことを証明する公的書類を添付してください。
修学歴調書 (所定の用紙) ※該当する者のみ	▲	▲	▲	▲	▲	<ul style="list-style-type: none"> 外国での修学歴のある者は、必ず提出してください。
入学試験論文	●					<ul style="list-style-type: none"> VIの4の「入学試験論文について」により作成してください。 A4判用紙を使用し、所定の表紙を付して提出してください。なお、表紙には論文題目・志望コース・専攻言語・氏名を記入してください。また、使用言語を明示してください。 <u>ページ番号を右下に付してください。</u>
<u>IELTS(Academic Module)、</u> <u>TOEFL-iBT Test、</u> 又は <u>TOEFL-ITP Tests</u> の成績票 (いずれか1つのみ) ※該当する者のみ	▲					<ul style="list-style-type: none"> <u>言語社会専攻【一般】志願者で、試験科目「言語」に「英語」を選択する者のみ</u>提出してください。 詳細は、「<u>VIII 英語外部検定試験の利用について</u>」を必ず確認してください。

出願書類等	必要書類					摘 要
	一 般	社 会 人	外 国 人 留 学 生	中 国 語 教 員 リ カ レ ン ト ・ コ ー ス	英 語 教 員 リ カ レ ン ト ・ コ ー ス	
課題論文		●				<ul style="list-style-type: none"> 志望する専攻に関する「語学」・「文学」・「文化」・「社会」の分野から、一つのテーマを選んで日本語で論述してください。 論文は、A4判用紙を使用し、8,000字程度にまとめ、所定の表紙を付して提出してください。ただし、<u>ヨーロッパ・アメリカ言語文化コースの志望者</u>で英語を専攻言語にする者は、必ず英文でA4判用紙（12ポイント・25行で）6枚程度にまとめてください。 <u>ページ番号を右下に付してください。</u>
			●			<ul style="list-style-type: none"> 志望する専攻に関する「語学」・「文学」・「文化」・「社会」の分野から、一つのテーマを選んで日本語又は志望する専攻言語で論述してください。 論文は、A4判用紙を使用し、日本語で作成する場合は8,000字程度、志望する専攻言語で作成する場合はダブルスペースで7枚程度にまとめ、所定の表紙を付して提出してください。ただし、<u>ヨーロッパ・アメリカ言語文化コースの志望者</u>で英語を専攻言語にする者は、必ず英文でA4判用紙（12ポイント・25行で）6枚程度にまとめてください。 <u>ページ番号を右下に付してください。</u>
志望理由書				●	●	<ul style="list-style-type: none"> 各リカレント・コースで希望する専攻分野（「言語」・「文学」・「文化」・「社会」のいずれか1つ）を選択し、本研究科での専攻分野研究を志望する理由を、【中国語教員リカレント・コース】志望者は中国語で、【英語教員リカレント・コース】志望者は英語で、A4判用紙6枚程度にまとめ、所定の表紙を付して提出してください。 <u>ページ番号を右下に付してください。</u>
志望理由・研究計画書 (所定の用紙)		●	●			<ul style="list-style-type: none"> 日本語又は専攻言語で作成してください。 志望理由及び入学後の研究計画を記入してください。
研究計画書 (所定の用紙)				●	●	<ul style="list-style-type: none"> 入学後の研究計画を記入してください。
職歴等調書 (所定の用紙)		●		●	●	<ul style="list-style-type: none"> 過去及び現在においてたずさわっている職務内容、研究経歴又は卒業論文等の概要等について記入してください。

出願書類等	必要書類					摘 要
	一 般	社 会 人	外 国 人 留 学 生	中 国 語 教 員 リ カ レ ン ト ・ コ ー ス	英 語 教 員 リ カ レ ン ト ・ コ ー ス	
有職証明書 ※該当する者のみ		▲				・年齢 25 歳（令和 3（2021）年 3 月 31 日現在）未 満の者で、官公庁・会社等に在職している者は在 職の事実を証明する書類（写し不可）を、また、就 職が内定している者は内定通知等の書類（写しで も可）を提出してください。
在職証明書				●	●	・中国語教員リカレント・コース 勤務先学校長が作成したもの（様式は任意）で、 現在「IV 出願資格」の 4 の(2)の①に定める学校 等の中国語の教員の職にあること、及び学校等に おける 3 年以上の中国語教育経験を確認すること ができるもの（写し不可） ・英語教員リカレント・コース 勤務先学校長が作成したもの（様式は任意）で、 現在「IV 出願資格」の 5 の(2)の①に定める中学 校等の英語の教員の職にあること、及び中学校等 における 3 年以上の英語教育経験を確認すること ができるもの（写し不可）
検 定 料 (30、000 円)	●	●	●	●	●	・検定料振込依頼書により、 <u>銀行窓口で振り込んで ください。(ATM、インターネット等)は利用でき ません。</u> ※ゆうちょ銀行（郵便局）からは振り込 みできません。 なお、振込手数料は、志願者の負担とします。 ・検定料納入証明書は、必ず願書の指定された場所 にはがれないように貼付して提出してください。 (注)国費外国人留学生として入学する者について は、 <u>検定料は不要です。ただし、国費外国人留 学生であることを証明できる書類を提出してく ださい。</u> (本研究科言語社会専攻、日本語・日本 文化専攻及び本学外国語学部)に在籍している国 費外国人留学生は提出不要です。)
受験票・写真票・発送票 (所定の用紙)	●	●	●	●	●	・太枠内に必要事項を記入してください。 ・写真票に入学願書と同じ写真を 1 枚貼付してく ださい。
返信用封筒 (受験票送付用)	●	●	●	●	●	・長形 3 号 (120mm×235mm) 封筒に出願者の郵便番 号、住所、氏名を明記し、84 円分の郵便切手を 貼付してください。(書留による受験票発送を希 望する場合は、404 円分の郵便切手を貼付してく ださい。)

(注) 1 出願書類は返却しません。

2 納入された検定料は返付しません。ただし、本研究科が出願書類の不備等の理由により出願
書類を受理しなかった場合又は誤って納入した場合は、本人の請求に基づいて返付します。

(2) 日本語・日本文化専攻

出願書類等	必要書類			摘 要
	一 般	社 会 人	外国 人留 学生	
入学願書 (所定の用紙)	●	●	●	<ul style="list-style-type: none"> ・写真は、上半身正面向無帽で、出願前3か月以内に撮影したものを貼付してください。 (写真の大きさ縦4cm×横3.5cm 1枚)
成績証明書 及び 卒業(見込)証明書	●	●	●	<ul style="list-style-type: none"> ・出身大学の学長又は学部長が作成し、厳封したもの(写し不可) ・偽造防止用紙による証明書の場合は、特に厳封を要しません。 ・日本語又は英語以外の証明書の場合は、日本語訳文(出願者作成可)を添付してください。 ・<u>海外の大学等の卒業(見込)者で、卒業(見込)証明書内に学位名が記載されていない場合は、併せて学位授与(見込)証明書の提出が必要です。</u> ・婚姻等により証明書に記載された氏名と現在の氏名が相違している場合は、改名したことを証明する公的書類を添付してください。
修学歴調書 (所定の用紙) ※該当する者のみ	▲	▲	▲	<ul style="list-style-type: none"> ・外国での修学歴のある者は、必ず提出してください。
入学試験論文	●	●	●	<ul style="list-style-type: none"> ・VIの4の「入学試験論文について」により作成してください。 ・A4判用紙を使用し、所定の表紙を付して提出してください。なお、表紙には論文題目・氏名を記入し、該当する出願区分に○を付してください。 ・<u>ページ番号を右下に付してください。</u>
職歴等調書 (所定の用紙)		●		<ul style="list-style-type: none"> ・過去及び現在においてたずさわっている職務内容、研究経歴又は卒業論文等の概要等について記入してください。
有職証明書 ※該当する者のみ		▲		<ul style="list-style-type: none"> ・年齢25歳(令和3(2021)年3月31日現在)未満の者で、官公庁・会社等に在職している者は在職の事実を証明する書類(写し不可)を、また、就職が内定している者は内定通知等の書類(写しでも可)を提出してください。

出願書類等	必要書類			摘 要
	一 般	社 会 人	外国 人留 学生	
検 定 料 (30,000 円)	●	●	●	<ul style="list-style-type: none"> ・検定料振込依頼書により、銀行窓口で振り込んでください。 (ATM、インターネット等には利用できません。) ※ゆうちょ銀行(郵便局)からは振り込みできません。 ・検定料納入証明書は、必ず願書の指定された場所にはがれないように貼付して提出してください。 (注) 国費外国人留学生として入学する者については、検定料は不要です。ただし、国費外国人留学生であることを証明できる書類を提出してください。(本研究科言語社会専攻、日本語・日本文化専攻及び本学外国語学部に在籍している国費外国人留学生は提出不要です。)
受験票・写真票・送付票 (所定の用紙)	●	●	●	<ul style="list-style-type: none"> ・太枠内に必要事項を記入してください。 ・写真票に入学願書と同じ写真を1枚貼付してください。
返信用封筒 (受験票送付用)	●	●	●	<ul style="list-style-type: none"> ・長形3号(120mm×235mm)封筒に出願者の郵便番号、住所、氏名を明記し、84円分の郵便切手を貼付してください。(書留による受験票発送を希望する場合は、404円分の郵便切手を貼付してください。)

(注) 1 出願書類は返却しません。

2 納入された検定料は返付しません。ただし、本研究科が出願書類の不備等の理由により出願書類を受理しなかった場合又は誤って納入した場合は、本人の請求に基づいて返付します。

2 出願期間

- (1) 夏季試験 令和2(2020)年6月8日(月)から6月19日(金)
- (2) 冬季試験 令和2(2020)年11月24日(火)から12月4日(金)

3 出願方法 (以下のいずれかの方法で出願してください。)

(1) 【持参による場合】

- ・提出場所：箕面事務室学生支援係
- ・出願書類受付時間：平日9時30分～11時00分、12時30分～17時00分(時間厳守のこと)

(2) 【郵送による場合】

- ・出願書類を角形2号(240mm×332mm)封筒に入れて、封筒の表に「大学院博士前期課程入学願書在中」と朱書きし、箕面事務室学生支援係に必ず出願期間内に到着(必着)するように書留により発送してください。
- ・ただし、期限後に到着したもので、夏季試験にあつては令和2(2020)年6月17日(水)以前、冬季試験にあつては令和2(2020)年12月2日(水)以前の日本国内発信局消印のあるものについては受け取りません。

4 入学試験論文について

(1) 言語社会専攻【一般】

別表「入学試験論文一覧表」の①「言語社会専攻」の各専攻言語及び次の(注)の指示により作成してください。

- (注) 1 論文の使用言語を明記してください。特に指定のない限り日本語とします。
 2 パソコン(日本語ワープロソフト)を使用して作成する場合は、A4判・縦長・横書きとし、1行40字・1ページ30行で作成してください。

(2) 日本語・日本文化専攻【一般・社会人・外国人留学生】

別表「入学試験論文一覧表」の②「日本語・日本文化専攻」の日本語・日本文化実践コース及び次の(注)の指示により作成してください。

- (注) パソコン(日本語ワープロソフト)を使用して作成する場合は、A4判・縦長・横書きとし、1行40字・1ページ30行で作成してください。

別表「入学試験論文一覧表」

① 言語社会専攻

コース	専攻言語	論文の内容	字数	摘要
	アジア・ アフリカ 言語文化 コース	中国語	入学後の研究計画を、研究テーマ・目的・意義・方法論等に留意して、詳細に論述しなさい。	6,000～ 8,000字
朝鮮語		入学後の研究テーマについて、その学問的意義を明確にしながら論述しなさい。	8,000字程度	
モンゴル語		モンゴルの言語・文学・文化のうち、最も関心のあるテーマについて論述しなさい。	8,000字程度	モンゴル語で作成の場合は、日本語で1,000字程度の要約を添付すること。
インドネシア語		入学後の研究計画を、研究テーマ・目的・意義・方法論等に留意して、詳細に論述しなさい。	4,000字程度	
フィリピン語		入学後の研究テーマについて論述しなさい。	4,000字程度	
タイ語		あなたの従来の研究テーマと入学後の研究テーマについて論述しなさい。	8,000字程度	
ベトナム語		入学後の研究テーマについて論述しなさい。	4,000字程度	
ビルマ語		入学後の研究テーマについて、その学問的意義を明確にしながら論述しなさい。	8,000字程度	
ヒンディー語		入学後の研究テーマについて論述しなさい。	6,000～ 12,000字	

アジア・ アフリカ 言語文化 コース	ウルドゥー語	ウルドゥー語学・文学あるいはウルドゥー語圏の文化の分野で、最も関心のあるテーマを選んで論述しなさい。	6,000～ 12,000字	1,000語程度のウルドゥー語要約を添付すること。
	アラビア語	アラビア語圏の言語・文学・文化の分野で最も関心のあるテーマを選んで論述しなさい。	8,000字程度	
	ペルシア語	イランの言語・文学・文化のうち、最も関心のあるテーマについて論述し、入学後の研究計画についても述べなさい。	8,000字程度	
	トルコ語	トルコの言語・文学・文化のうち、最も関心のあるテーマを選んで論述しなさい。	6,000字程度	
	スワヒリ語	入学後の研究計画について、研究のテーマ、目的、意義、方法論に留意して記述しなさい。	4,000字程度	
ヨーロッ パ・アメリ カ言語文 化コース	ロシア語	ロシアとその周辺諸地域に関連して最も関心のあるテーマを選び論述しなさい。	8,000字程度	卒論の要約でも可
	ハンガリー語	ハンガリーの言語・文学・文化の分野で、最も関心のあるテーマを選んで論述しなさい。	8,000字程度	卒論の要約でも可
	ドイツ語	ドイツ語圏の言語・文学・文化などの分野で、入学後の研究テーマについて論述しなさい。なお、その目的・意義・方法論などに留意して記述すること。	8,000字程度	卒論の要約に研究計画を付記したのも可。500語程度のドイツ語による要約を添付すること。
	デンマーク語	入学後の研究テーマについて論述しなさい。	6,000字程度	本研究科の「言語」試験を「デンマーク語」で受験しない志願者は、論文に1,000語程度のデンマーク語の要約を添付すること。
	スウェーデン語	入学後の研究テーマについて論述しなさい。	6,000字程度	本研究科の「言語」試験を「スウェーデン語」で受験しない志願者は、論文に1,000語程度のスウェーデン語の要約を添付すること。

ヨーロッパ・アメリカ言語文化コース	英語	あなたの研究テーマについて英語もしくは日本語で論述しなさい。	英語の場合5枚程度、日本語の場合4,000字～6,000字程度	英語で作成する場合はA4判用紙を使用し、12ポイント・25行で作成すること。
	フランス語	フランスの言語・文学・文化のうち、最も関心のあるテーマについて論述しなさい。	6,000～8,000字	
	イタリア語	イタリア語学・文学・文化の分野で最も関心のあるテーマについて論述しなさい。	8,000字以内	
	スペイン語	入学後の研究テーマについて論述しなさい。	8,000字以内	
	ポルトガル語	入学後の研究計画について、研究のテーマ、目的、意義、方法論に留意して論述しなさい。	8,000字程度	

② 日本語・日本文化専攻

コース	論文の内容	字数	摘要
日本語・日本文化実践コース	「日本語学・言語学」「日本語教育学」「日本文化学」のいずれかの分野に関する研究論文（10,000字程度）。ただし、 <u>研究論文の末尾には、入学後の研究計画（1,000字程度）を含むこと。</u>	10,000字程度	使用言語は日本語とする。 ※ <u>英語による要約を添付すること。</u>

Ⅶ 入学者選抜方法

入学者の選抜は、学力検査の成績、口述試験、入学試験論文、成績証明書及びその他の提出書類等の審査の結果を総合して行います。

(1) 学力検査等の日程

- ・下記の要領により、専門科目及び言語の試験並びに口述試験を行います。
- ・【社会人】及び【外国人留学生】については、言語の試験を課さないものとします。
- ・【中国語教員リカレント・コース】については、専門科目及び言語の試験を免除し、口述試験のみを課します。
- ・【英語教員リカレント・コース】については、言語の試験及び口述試験を課します。

① 夏季試験 令和2(2020)年8月1日(土)

【一般・社会人・外国人留学生・中国語教員リカレント・コース及び英語教員リカレント・コース】

試験科目 (配点)	試験時間		摘要
専門科目 (200点) 【一般・社会人・外国人留学生】	10:00～12:00		各自の専攻分野に応じた地域及び言語に関する問題を課します。
言語 (100点) 【一般・英語教員リカレント・コース】	13:00～14:00		<p>・ <u>下記の※を参照のこと。</u></p> <p>・ <u>言語社会専攻【一般】志願者で試験科目「言語」に「英語」を選択する者は、下記の(注1)も併せて必ず確認してください。</u></p> <p>・ <u>【英語教員リカレント・コース】志願者は、下記の(注2)も併せて必ず確認してください。</u></p>
口述試験	言語社会専攻	【社会人】 【外国人留学生】 13:30～	課題論文及び志望理由・研究計画書等について、口述試験を行います。
		【中国語教員リカレント・コース】 13:30～	志望理由書、研究計画書及び中学校・高等学校の中国語教育の課題と改善点等について、口述試験(必要に応じ中国語による口述を行う場合があります。)を行います。
		【英語教員リカレント・コース】 14:30～	志望理由書、研究計画書及び中学校・高等学校の英語教育の課題と改善点等について、口述試験(必要に応じ、英語による口述を行う場合があります。)を行います。
		【一般】 14:30～	入学試験論文等に関し、口述試験を行います。
	日本語・日本文化専攻	【社会人】 【外国人留学生】 13:30～	入学試験論文及び研究計画等について、口述試験を行います。
【一般】 14:30～			

② 冬季試験 令和3(2021)年2月6日(土)

【一般・社会人・外国人留学生・英語教員リカレント・コース】

試験科目 (配点)	試験時間		摘要
専門科目 (200点) 【一般・社会人・外国人留学生】	10:00～12:00		各自の専攻分野に応じた地域及び言語に関する問題を課します。
言語 (100点) 【一般・英語教員リカレント・コース】	13:00～14:00		<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>下記の※を参照のこと。</u> ・ <u>言語社会専攻【一般】志願者で試験科目「言語」に「英語」を選択する者は、下記の(注1)も併せて必ず確認してください。</u> ・ <u>【英語教員リカレント・コース】志願者は、下記の(注2)も併せて必ず確認してください。</u>
口述試験	言語社会専攻	【社会人】 【外国人留学生】 13:30～	課題論文及び志望理由・研究計画書等について、口述試験を行います。
		【英語教員リカレント・コース】 14:30～	志望理由書、研究計画書及び中学校・高等学校の英語教育の課題と改善点等について、口述試験(必要に応じ英語による口述を行う場合があります。)を行います。
		【一般】 14:30～	入学試験論文等に関し、口述試験を行います。
	日本語・日本文化専攻	【社会人】 【外国人留学生】 13:30～ 【一般】 14:30～	入学試験論文及び研究計画等について、口述試験を行います。

※ 入学願書の「試験科目 言語」欄に受験する言語を記入すること。

中国語、朝鮮語、モンゴル語、インドネシア語、フィリピン語、タイ語、ベトナム語、ビルマ語、ヒンディー語、ウルドゥー語、アラビア語、ペルシア語、トルコ語、スワヒリ語、ロシア語、ハンガリー語、ドイツ語、デンマーク語、スウェーデン語、英語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語のうちから、「第一言語」*を除く、志願者選択の1言語の問題を課す。ただし、外国人の志願者は、前記言語に代えて日本語を選択受験することができる。

* 「第一言語」とは、いわゆる「母語」のことで、志願者が最も自己を表現しやすい言語をいう。

(注1) 言語社会専攻【一般】志願者で、試験科目「言語」に「英語」を選択する者には、試験科目「言語」の一部として言語運用能力を確かめるための英文による小論文の試験を課し、提出された英語外部検定試験の成績を得点換算した得点を加えた合計点（配点100点）により評価します。

※ 英語外部検定試験成績の提出方法については、「VIII 英語外部検定試験の利用について」を確認してください。

(注2) 【英語教員リカレント・コース】志願者については、言語運用能力を確かめるための英文による小論文の試験を課します。

(2) 試験場

大阪大学箕面キャンパス

おおさかふみのおしあおまたにひがし
大阪府箕面市粟生間谷東8丁目1番1号

(<https://www.osaka-u.ac.jp/ja/access/minoh/minoh.html>)

VIII 英語外部検定試験の利用について

言語社会専攻【一般】志願者で試験科目「言語」に「英語」を選択する者は、IELTS(Academic Module)、TOEFL-iBT Test、又は TOEFL-ITP Tests の成績票（いずれか1つのみ）の提出が必要です。成績票の提出にあたっては、以下の点について留意願います。

【全般的事項】

- ①IELTS(Academic Module)、②TOEFL-iBT Test、又は ③TOEFL-ITP Tests の成績票（いずれか1つのみ）を提出してください。
- 2018年4月1日以降に受験したもので、出願時において有効期限内である成績票のみ有効です。
- 提出された成績票は返却しません。

【① IELTS(Academic Module)】

- IELTS事務局から大学に直接送付される電子送信での成績証明書(Test Report Form)のみ受け付けます。
- インターネットで IELTS事務局に申請される際には、送付先を「大阪大学大学院言語文化研究科言語社会専攻／日本語・日本文化専攻（箕面事務室学生支援係）」、送付先住所を「〒562-8558 大阪府箕面市粟生間谷東8-1-1」とし、備考欄に「電子送信」の旨を記入してください。
- IELTS事務局から大学へ直接送付される成績証明書（Test Report Form）が出願期間内に届かない見込みの場合は、IELTSから受験者宛てに発行された成績票（Test Report Form）の写しを提出してください。ただし、その場合でも、IELTS事務局から大学に直接送付される成績証明書（Test Report Form）の送付申請は必ず行ってください。夏季試験にあつては令和2（2020）年7月6日（月）までに、冬季試験にあつては令和2（2020）年12月21日（月）までにIELTS事務局から大学に成績証明書（Test Report Form）が直接届かない場合は受験を認めません。
- IELTS（General Training Module）は認めません。

【② TOEFL-iBT Test】

- ETS (Educational Testing Service 以下同じ。) から 大学に直接送付される公式スコアレポート (Institutional Score Report 又は Official Score Report) のみ受け付けます。
- インターネットで ETS に本研究科への直接送付の申請をしてください。申請の際に必要なとなる登録コードは「C685」です。また、Department Code が必要な場合は「98 other humanities」を選択してください。(ETS からスコアレポート発送後、本研究科に到着するまでに 4～6 週間以上要する場合がありますので、余裕をもって申請してください。)
- ETS から大学に直接送付される公式スコアレポート (Institutional Score Report 又は Official Score Report) が出願期間内に届かない見込みの場合は、ETS から受験者宛てに発行された Test Taker Score Report 又は Examinee Score Report の写しを提出してください。ただし、その場合でも、ETS から大学に直接送付される公式スコアレポート (Institutional Score Report 又は Official Score Report) の送付申請は必ず行ってください。夏季試験にあつては令和 2 (2020) 年 7 月 6 日 (月) までに、冬季試験にあつては令和 2 (2020) 年 12 月 21 日 (月) までに ETS から大学に公式スコアレポート (Institutional Score Report 又は Official Score Report) が直接届かない場合は受験を認めません。
- Test Date Scores のみを利用します。(MyBest Scores は利用しません。)

【③ TOEFL-ITP Tests】

- TOEFL-ITP Tests のスコアレポート (受験者用控え) の写しを提出してください。
- 本学以外で受験した TOEFL-ITP Tests のスコアレポート (受験者用控え) の写しを提出する場合は、テストを実施した機関 (所属 (出身) 大学等) から原本証明が必要です。
(原本証明の無いものは無効とします。)
- 出願期間内にスコアレポート (受験者用控え) の写しの提出が無い場合は受験を認めません。

IX 合格者の発表

合格者の発表は、下記の日時に大阪大学箕面キャンパス「阪大外国語学部前」バス停前掲示板で、受験番号の掲示により行うとともに、合格者には合格通知書を送付します。

なお、合否に関する電話による問い合わせには一切応じません。

また、言語社会専攻/日本語・日本文化専攻のホームページでも合格者の受験番号を公開する予定です。

夏季試験	冬季試験
令和 2 (2020) 年 8 月 7 日 (金) 13:00	令和 3 (2021) 年 2 月 12 日 (金) 13:00

X 入学手続

合格者は、令和 3 (2021) 年 2 月下旬に送付する (冬季試験合格者には、合格通知に同封する) 入学手続案内に従い、入学手続を完了してください。

なお、指定された入学手続期間中に入学手続を完了しない者については、入学を辞退したものと取り扱います。

※入学手続期間は、令和 3 (2021) 年 3 月 1 日 (月) ～ 3 月 3 日 (水) の予定です。

XI 入学料及び授業料 (下記の金額は予定であり、今後変更することがあります。)

1 入学料 282,000円

2 授業料 535,800円 (前期分 267,900円・後期分 267,900円)

(注 1) 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

(注 2) 入学料及び授業料の支払方法等については、入学手続案内にて通知します。

XII 個人情報 の 取扱い

出願書類等に記載されている氏名、生年月日、住所、その他の個人情報は、入学者選抜、合格者発表及び入学手続等の入試業務並びに入学後の修学指導業務等を行うために利用します。

また、合格者については合格発表日以降、入学後に履修可能な教育プログラムについての案内をするために利用することがあります。

なお、取得した個人情報は、適切に管理し、利用目的以外には使用しません。

XII その他

- 1 入学願書等の所定様式は、大阪大学大学院言語文化研究科言語社会専攻ホームページ（入試情報）からダウンロードのうえ利用してください。提出書類は全て A 4 判用紙（白紙）で印刷してください。（http://www1.lang.osaka-u.ac.jp/ls/admission/a_ls_info.html）ホームページからダウンロード及び印刷できる環境にない方は、郵送で請求してください。郵送で請求を行うときは、封筒の表に「言語文化研究科言語社会専攻／日本語・日本文化専攻博士前期課程募集要項請求」と朱書きし、返信用封筒（角形 2 号（240mm×332mm）封筒に 210円分の切手を貼付し、本人の宛名を明記したもの）を同封の上請求してください。請求・照会先等は、末記の《問い合わせ先》とします。
- 2 出願書類の記入事項及び書類等に不備がある場合は、受理しません。
- 3 出願書類受理後は、書類の差し替えや記入事項の変更は認めません。また、出願書類及び納付された検定料は返付しません。
- 4 出願書類等に虚偽の記載をした者は、入学決定後であっても入学の許可を取り消すことがあります。
- 5 受験票は、夏季試験にあつては令和 2（2020）年 7 月 10 日（金）、冬季試験にあつては令和 3（2021）年 1 月 8 日（金）に出願者へ郵便で発送する予定です。なお、夏季試験にあつては令和 2（2020）年 7 月 15 日（水）、冬季試験にあつては令和 3（2021）年 1 月 13 日（水）を過ぎても受験票が到着しない場合は、末記の《問い合わせ先》に問い合わせてください。
- 6 障がい等のある者で、受験及び修学に際して特別な配慮を必要とする者は、出願に先立ち、夏季試験志願者にあつては令和 2（2020）年 5 月 29 日（金）までに、冬季試験志願者にあつては令和 2（2020）年 10 月 16 日（金）までに、末記の《問い合わせ先》に問い合わせてください。
- 7 出願後に住所変更等があつた場合は、速やかに末記の《問い合わせ先》に連絡してください。
- 8 出願にあたっては、自身が志望する研究内容等を踏まえ、後掲の参考資料「指導担当教員一覧」により担当教員、研究分野及び研究題目等を十分に確認しておいてください。

XV 受験上の注意

- 1 試験場（大阪大学箕面キャンパス）及び最寄り駅からの経路については、大阪大学ホームページアクセスマップ（<https://www.osaka-u.ac.jp/ja/access/accessmap.html>）等を参照してください。
- 2 試験室等については、試験当日、大阪大学箕面キャンパス研究・講義棟 A 棟 1 階玄関ホールに掲示します。
- 3 試験当日は、受験票及び筆記用具（黒鉛筆又は黒い芯のシャープペンシル、消しゴム）を必ず持参してください。なお、受験票を忘れた場合は、試験場本部に申し出てください。
- 4 時計については、計時機能だけのものに限り使用を認めます。
- 5 受験者は、試験開始時刻の 20 分前までに試験室に入室し、受験番号ごとに指定された受験席に着席してください。
- 6 試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始時刻後 20 分以内の遅刻に限り、受験を認めます。
- 7 試験開始後は、原則として当該試験終了まで退室を認めません。なお、試験中の発病等やむを得ない事情により一時退室を希望する場合は、挙手して試験監督者に申し出てください。

- 8 試験に関して不正な行為があると認められた時は、その者の試験を無効とし、以後の受験を禁止します。
- 9 口述試験の開始 10 分前までには口述試験控室に待機しておいてください。
- 10 口述試験の最終終了予定時刻は 18 時ですが、事情によってはそれより若干遅くなる場合があります。
- 11 試験当日は、学内食堂等は営業しておりませんので、昼食は各自で用意してください。

【重要なお知らせ】

(1) 言語文化研究科言語社会専攻博士前期課程【英語教員リカレント・コース】の試験科目「言語」の試験方法の変更について（予告）

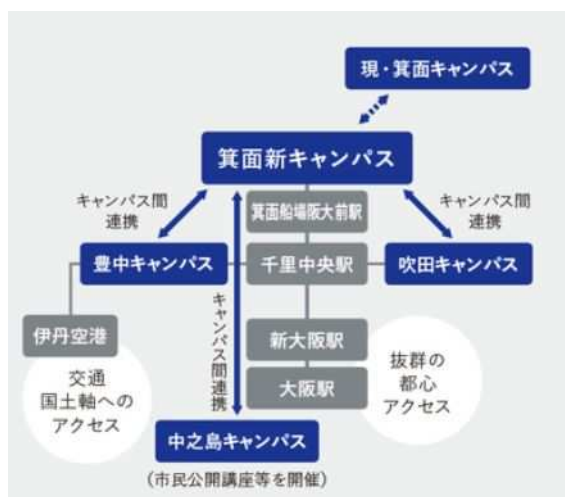
令和 5（2023）年度入試（令和 4（2022）年夏季及び令和 5（2023）年冬季に実施予定の入試）より、大学院博士前期課程【英語教員リカレント・コース】の試験科目「言語」において、次のとおり英語外部検定試験を導入する予定です。

対象となる試験区分	導入する外部検定試験の種類等（予定）	摘 要
言語社会専攻【英語教員リカレント・コース】	<p><u>IELTS(academic module)</u>、 <u>TOEFL-iBT Test</u>、 又は <u>TOEFL-ITP Tests</u> のいずれか。</p> <p>※ 2020 年度（2020 年 4 月 1 日）以降に受験したもので出願時に有効期限内のものに限る。</p>	<p>・ただし、英語外部検定試験を導入するとともに、言語運用能力を確かめるための英文による小論文の試験を課す予定です。</p>
英語外部検定試験のスコアを本研究科が定める換算式に基づいて得点換算する予定です。（換算式は公表しません。）		

(2) 大阪大学箕面キャンパスの移転について

大阪大学箕面キャンパスは、令和 3（2021）年 4 月に箕面船場地区へ移転を予定しております。

なお、北大阪急行の延伸については、開業目標が当初の令和 2（2020）年度から 3 年延期され、令和 5（2023）年度となりました。大学最寄りの新駅の名称は「箕面船場阪大前駅」です。千里中央駅から新キャンパス近辺まで既設の路線バス（阪急バス）が運行しています。乗車時間は約 10 分程度です。



※イメージ

《博士課程教育リーディングプログラムについて》

大阪大学には、博士課程教育リーディングプログラムと呼ばれる大学院プログラムがあります。このプログラムでは、研究科における従来の教育・研究活動に加えて、広く社会とのかかわりのなかで展開するコースワークによって、俯瞰力と、社会に生きる独創性を身につけることにより、国際的に、広く社会で活躍するリーダーとなる人材育成を目指しています。

言語文化研究科博士前期課程の合格者は、下記の博士課程教育リーディングプログラムに応募することができます。詳細は各プログラムのホームページを参照してください。

プログラム名 等		対象となる研究科・専攻等	HP URL 等
超域イノベーション博士課程プログラム	Basic コース・ 本履修生	文学研究科（文化形態論専攻、文化表現論専攻）、人間科学研究科、法学研究科、経済学研究科、理学研究科、医学系研究科（医学専攻、保健学専攻）、歯学研究科、薬学研究科、工学研究科、基礎工学研究科、 <u>言語文化研究科</u> 、国際公共政策研究科、情報科学研究科、生命機能研究科	http://www.cbi.osaka-u.ac.jp 本プログラムは1年半のBasicコースとそれに続く3年間（4年制博士課程の場合は2年間）のAdvancedコースから編成されています。Basicコースの履修は1年次の10月からになります。本履修生はAdvancedコースの履修を前提としてBasicコースを履修します。準履修生は、条件を満たせば、Advancedコースに出願することができます。
	Basic コース・ 準履修生	文学研究科、人間科学研究科、法学研究科、経済学研究科、理学研究科、医学系研究科、歯学研究科、薬学研究科、工学研究科、基礎工学研究科、 <u>言語文化研究科</u> 、国際公共政策研究科、情報科学研究科、生命機能研究科	

《問い合わせ先》

大阪大学言語文化研究科・外国語学部箕面事務室学生支援係

〒562-8558 大阪府箕面市粟生間谷東8丁目1番1号

TEL (072) 730-5069 (直通)

URL <http://www1.lang.osaka-u.ac.jp/>

博士前期課程指導担当教員一覧

●言語社会専攻教員研究分野

区分	職名	担当教員	研究分野	研究題目
中国語	教授	古川 裕	中国語学・中国語教育	認知言語学による現代中国語構文論、語構成論；中国語教育における到達度評価
		深尾 葉子	社会生態学・中国社会論・越境マネジメント	中国社会の内在論理に則したコミュニケーション分析・中国における環境と人々の生活の相互作用に関する研究・東アジア里山経済の越境マネジメント
	准教授	今泉 秀人	中国現代文学	中国現代文学、特に沈從文作品の表現と内容に関する研究、また作家の事跡に関する研究。中国語圏文学の研究、特に台湾の鍾理和や馬華文学の作品や作家の事跡について。
		林 初梅	言語社会学	近現代台湾におけるアイデンティティ形成・言語・社会文化に関する研究
	講師	鈴木 慎吾	中国語学	①中古音を中心とした漢語音韻史 ②切韻系韻書の増補改訂史 ③漢語諸方言音の歴史的変遷
		中田 聡美	中国語学	現代中国語のモダリティに関する研究
		劉 文兵	映画論、表象文化論	中国映画史、日中映画交流史、欧米映画における中国人の表象
朝鮮語	教授	岸田 文隆	朝鮮語学(朝鮮語史研究)	江戸期対馬の朝鮮語学書についての文献学的研究
	准教授	酒井 裕美	朝鮮近代史	19世紀後半、統理交渉通商事務衙門を中心として行われた朝鮮の外交政策について
モンゴル語	教授	塩谷 茂樹	モンゴル語学、モンゴル口承文芸	①モンゴル語形態論、語彙論研究 ②モンゴル語ことわざ、民話、慣用句研究 ③モンゴル系民和土族語の記述言語学的研究
	准教授	今岡 良子	遊牧地域論	①生物多様性と草原 ②遊牧地域社会を外から変容させる自然的・社会的要因と遊牧運動 ③モンゴル現代女性史
		中嶋 善輝	モンゴル語学	①モンゴル語とチュルク語の言語接触に関する研究 ②カザフ語、ウズベク語に関する記述的研究
インドネシア語	准教授	原 真由子	社会言語学、インドネシア語学、バリ語学	①バリ語とインドネシア語のコード混在 ②バリ語山地方言の社会言語学的研究
		菅原 由美	インドネシア史、イスラーム史	東南アジア島嶼部におけるイスラームの展開
	講師	松村 智雄	インドネシア地域研究	インドネシア国民形成期の華人社会の動態、インドネシアにおける中国・華人研究の発展
フィリピン語	教授	宮原 暁	社会人類学、華僑華人研究	東・東南アジアにおける人の移動に伴う知識、技術、モノの多声的翻訳プロセスに関する社会人類学的研究。華僑華人のオラリティとリテラシーに関する社会人類学的研究。
	准教授	宮脇 聡史	フィリピン地域研究	フィリピン市民社会(特にカトリック教会)の国民意識・歴史認識と政治・社会参加
	助教	矢元 貴美	移民政策、異文化間教育	①フィリピンにルーツを持つ子どもの教育における諸問題 ②フィリピン語の母語・継承語教育 ③フィリピン語教材と教授法
		白石 奈津子	フィリピン地域研究	①農村コミュニティ論 ②少数民族とアイデンティティに関する問題
タイ語	教授	宮本 マラシー	社会言語学	①タイ語表現 ②タイ語コミュニケーション ③タイ語と性差
		村上 忠良	タイ地域研究、文化人類学	①声と文字をめぐる宗教実践 ②タイ系民族ジャンの社会と文化 ③タイ国内の宗教的少数派
	講師	日向 伸介	タイ近現代史、地域研究	近現代のタイにおける政治と文化
ベトナム語	教授	清水 政明	ベトナム語学	①字喃資料によるベトナム語史研究 ②ベトナム語教育・習得研究
	講師	ファン・ティ・ミー・ロアン	ベトナム語学	①ベトナム人を対象とした漢字・漢語学習指導法 ②日本語とベトナム語の両言語で使われる熟語の意味・用法にある異同の考察
	助教	近藤 美佳	ベトナム語教育	在日ベトナム人への母語・継承語教育

区分	職名	担当教員	研究分野	研究題目
ビルマ語	准教授	井上 さゆり	ビルマ音楽、ビルマ文学	①ビルマ古典歌謡における口承と書承 ②ビルマ歌謡史
		池田 一人	ビルマ地域研究、ビルマ史	①19世紀ビルマの民族形成史 ②ビルマの民族問題をめぐる史観研究
	講師	大塚 行誠	言語学	ビルマ語およびクキ・チン系諸言語の記述言語学的研究
ヒンディー語	准教授	長崎 広子	中世ヒンディー文学	古ヒンディー語を中心としたヒンドゥー教バクティ文学とその思想の研究
		西岡 美樹	言語学・ヒンディー語学	①ヒンディー語と日本語の言語学的対照研究 ②ヒンディー語ウェブコーパスと検索システムの開発
	助教	拓 徹	南アジア地域研究	①カシミール紛争の歴史と現在 ②近現代インドにおける宗教と政治の関係(およびその文化への影響)
ウルドゥー語	教授	山根 聡	ウルドゥー文学 南アジアのイスラーム文化	①ウルドゥー語話者地域の拡大に関する研究 ②南アジアにおけるイスラーム運動の諸相
	准教授	北田 信	ウルドゥー語学	①ウルドゥー語学・文学 ②新期インド・アリア語の文学 ③南アジアの伝統芸能
アラビア語	教授	近藤 久美子	アラビア語学、アラブ文学	アラビア語文法、アラブ古典文学、アラブ地域の民俗伝承研究
	准教授	依田 純和	アラビア語方言論	現代アラビア語の文法記述、マルタ語研究全般
		福田 義昭	アラビア語、アラブ文学	①近現代アラブ小説の歴史的展開 ②昭和戦前・戦中期の在日(とくに在神戸)ムスリム・コミュニティに関する研究
	講師	仲尾 周一郎	言語学、南スーダン地域研究	①アラビア語諸変種に関する現代言語学的研究 ②多言語使用・言語接触と言語変化 ③北東アフリカ都市文化研究
ペルシア語	教授	藤元 優子	イラン現代文学	イラン現代小説とジェンダー
	准教授	竹原 新	イラン民俗学	イランの民話と俗信に関する研究
	講師	ジャハドザデ ショ ルブラグ ベヘナム	ペルシア語学、言語学	現代ペルシア語の言語学観点からの研究
トルコ語	教授	大澤 孝	トルコ文化史研究	古代テュルク系遊牧民の碑文言語と歴史文化の調査研究
	准教授	藤家 洋昭	記述言語学	チュルク諸語の記述言語学的研究
		宮下 遼	トルコ文学(史)、トルコ社会史	近世トルコにおける文化的選良層の実態解明、トルコ文学現代作家の社会性を巡る言説研究
スワヒリ語	教授	竹村 景子	スワヒリ語学、スワヒリ文学、 スワヒリ文化論	①スワヒリ語諸変種の記述研究および標準スワヒリ語テキスト開発の研究 ②スワヒリ地域における女性の語りと歴史記述の研究 ③現代スワヒリ文学研究
		米田 信子	言語学	①バントゥ諸語の記述研究 ②多言語社会における言語政策・言語権
		小森 淳子	アフリカ言語学	ニジェール・コンゴ語族における動詞構造の形態・統語論比較研究 ①バントゥ諸語における動詞派生形研究 ②ヨルバ語、バンバラ語の統語論記述研究
ロシア語	教授	上原 順一	ロシア語学	①現代ロシア語の語彙論、語形成論 ②電子教材の研究
		藤原 克美	ロシア経済論	①ロシアの企業及び産業の研究 ②ソビエト消費財産業の研究
	准教授	横井 幸子	ロシア語教育・言語教育	①高校におけるロシア語教育支援のための基盤研究 ②日本における外国語教育政策研究
	助教	高橋 健一郎	ロシア芸術	①ニコライ・メトネルの音楽と同時代の思想の関係 ②ロシア・アヴァンギャルド音楽における世界観

区分	職名	担当教員	研究分野	研究題目
ハンガリー語	教授	岡本 真理	ハンガリー言語社会論	①近代ハンガリーの国民文学形成 ②近現代ハンガリーの言語問題
		鈴木 広和	ハンガリー史	①中世ハンガリー史 ②ハンガリーにおける歴史叙述の歴史
ドイツ語	教授	進藤 修一	ドイツ・オーストリア近現代史	①近代ドイツ教育社会史 ②ドイツ語圏における教育と民族 ③現代ドイツの移民問題と教育
		中川 裕之	ドイツ語学／言語学	①ドイツ語コーパス言語学 ②ドイツ語談話分析 ③日独語対照研究 ④スイスの多言語多文化研究
	講師	黒谷 茂宏	ドイツ語学／言語学	①ドイツ語文法研究(形態統語論・意味論・語用論) ②言語類型論 ③一般言語理論
	助教	北岡 志織	ドイツ文学	現代ドイツ演劇・文学における「他者」表象
		濱田 洋輔	哲学	①ドイツ哲学(主にエルンスト・カッシーラー)を中心とした西洋哲学 ②進化と人間行動・人間道徳(哲学的人間学、生物学の哲学、進化倫理学等)
デンマーク語	教授	田邊 欧	デンマーク文学・北欧文学	①デンマーク近・現代文学 ②北欧モダニズム研究
		石黒 暢	社会福祉学、社会政策論	①北欧と日本の高齢者介護政策の国際比較研究 ②子育て支援政策の国際比較研究 ③福祉国家論とガバナンス研究
	講師	大辺 理恵	デンマーク語学、言語学	デンマーク語の法助動詞における意味の歴史の変遷、デンマーク語の心態詞の用法
スウェーデン語	教授	高橋 美恵子	社会学、家族政策	①スウェーデンと日本の家族・ジェンダー ②ワーク・ファミリー・バランスの国際比較研究
	准教授	古谷 大輔	近世スウェーデン史(西洋史)	スウェーデンを対象とした近世ヨーロッパにおける複合的国家編成の研究
	講師	當野 能之	スウェーデン語学、言語学	現代スウェーデン語の不変動詞に関する研究
英語	教授	大津 智彦	英語統語法の歴史の変遷	①コーパスを使った英語統語法の史的変遷の記述と説明 ②現代英語に起こりつつある統語的変化の研究
		杉田 米行	アメリカ史	①AI(人工知能)とビッグデータが社会に与える影響 ②アメリカ政治外交史 ③日米医療保険制度 ④安全保障
		畑田 美緒	イギリス文学	19世紀のイギリス小説
		渡邊 克昭	アメリカ文学・文化	①現代アメリカ文学・文化、批評理論研究 ②アメリカ映像文化・メディア表象論 ③英語文学におけるポストヒューマン主義の思想史的展開
		中村 未樹	イギリス演劇・イギリス文化	①エリザベス朝の舞台慣習と演技 ②イギリス演劇の通時的研究 ③イギリス文化研究(初期近代から現代まで)
フランス語	教授	川北 恭子	フランス語学	フランス語の連結詞に関する研究
		高階 早苗	フランス近現代文学	マルルメにおける時空間の問題
	講師	岡田 友和	フランス近現代史	19-20世紀フランスの植民地と帝国をめぐる歴史研究
イタリア語	准教授	菊池 正和	イタリア文学	①イタリア近現代演劇 ②近現代シチリア文学
		ベルテッリ ジュリオ	イタリア史・日本史・国際関係史(近現代史)	①幕末・明治期における日伊外交・貿易関係に関する研究 ②19-20世紀のイタリア人が遺した日本関係史料(日記・書簡など)を中心とした研究
	助教	霜田 洋祐	イタリア文学	①マンゾーニ『婚約者』の語りの技法 ②イタリア近代小説

区分	職名	担当教員	研究分野	研究題目
スペイン語	教授	大内 一	スペイン中・近世史	①中世カスティーリャ王国の王権に関する研究 ②中世スペインの都市社会に関する研究 ③カトリック両王に関する研究 ④アルフォンソ10世に関する研究
		長谷川 信弥	スペイン語学、カタロニア語学、ロマンス語学	イベリア半島のロマンス語(特にカタロニア語、スペイン語)に関する記述的研究
	准教授	中本 香	近代スペイン史	近代スペインにおける国家編成の理論と実践
		松本 健二	ラテンアメリカ文学	チリ現代詩
		岡本 淳子	スペイン文学	①フランコ独裁政権下の検閲と演劇 ②ポスト・フランコの演劇
ポルトガル語	教授	平田 恵津子	ブラジル文学	①ブラジルモダニズム文学 ②日系ブラジル人の芸術表現
	准教授	鳥居 玲奈	ポルトガル語学	現代ブラジルポルトガル語文法研究(形態統語論・語彙論)
		坂東 照啓	ポルトガル語学・ブラジル地域研究	ポルトガル語の構造に関する記述的研究
	助教	サルダーニャ カリーナ	ポルトガル言語教育	言語教育・異文化間対話・口承文学

- (注) 1. 指導教員には、主指導教員と副指導教員の区別があります。入学後に主指導教員が決まります。
2. この一覧表は、言語文化研究科と日本語日本文化教育センターの専任教員に限定して作成したものです。

●日本語・日本文化専攻教員研究分野

系統	職名	担当教員	研究分野	研究題目
日本語学・言語学系域	教授	岩井 康雄	日本語学、日本語音声学・音韻論	①語彙カテゴリーと音韻 ②日本語学習者音声の特徴
		岸田 泰浩	理論言語学・言語類型論	①統語論を中心とした理論的研究・類型論的研究(格やevidentiality等) ②コーカサスの諸言語(アルメニア語やグルジア語)との対照研究
		中田 一志	現代日本語文法、文法教育	日本語のモダリティ、アスペクト、複文研究
		今井 忍	日本語学	日本語の形態法に関する認知言語学的研究
		三原 育子	日本語学・統語論	①機能語の類の統語論的研究 ②統語的な観点からの文法体系の構築
	准教授	蔦 清行	日本文献学	①古代日本語の研究 ②中世日本における漢文化の影響の研究
		山川 太	理論言語学	①日本語動詞における意味構造と統語的特徴との関連 ②漢語レベルにおける意味構造の分析
		村田 真実	方言学、社会言語学	①日本語諸方言の研究 ②京阪式アクセントとその変種についての研究
	講師	儀利古 幹雄	音声学、音韻論、社会言語学	日本語音声の変化に関する社会言語学的研究
		山泉 実	言語学(意味論、語用論)	名詞句の認知意味論・認知語用論
	助教	小池 康	日本語学	①自他動詞の研究 ②近現代日本語の変遷
	日本語教育学系域	教授	筒井 佐代	日本語教育学
准教授		小森 万里	日本語教育学	①アカデミック・ライティング教育 ②日本語教育のための文法・談話研究
		大和 祐子	日本語教育学	①日本語学習者の言語能力評価に関する研究 ②外国語としての日本語の習得とそれに影響する要因の検討
		高井 美穂	日本語教育学	①日本語の会話分析 ②会話分析を生かした日本語会話教材の開発
講師	立川 真紀絵	日本語教育学、社会言語学	異文化間コミュニケーション・ビジネスコミュニケーションに関する研究	
日本文化学系域	教授	加藤 均	仏教学	①近世・近代日本における仏教改革者の思想 ②インドと日本の仏教思想の比較研究
		五之治 昌比呂	比較文学	日本における西洋古典受容の研究
		岩井 茂樹	日本文化史、比較文化	①伝統文化研究 ②諸概念の受容および変容研究 ③表象文化研究
	准教授	佐野 方郁	日本史学	①近現代日本の国際関係に関する研究 ②戦後日本の史学史に関する研究
		柴田 芳成	日本古典文学	中世文学の研究
		松村 薫子	日本文化学、民俗学	①民間信仰の研究 ②妖怪文化の研究
		水野 亜紀子	日本近代文学	日本近代女性文学の研究
	講師	永原 順子	日本文化論	①伝統芸能、祭礼、怪異伝承の研究 ②自然科学の視点をういた日本文化研究

(注) 1. 指導教員には、主指導教員と副指導教員の区別があります。入学後に主指導教員が決まります。
2. この一覧表は、言語文化研究科と日本語日本文化教育センターの専任教員に限定して作成したものです。